http://www.juse.or.jp/sqip/

Software Quality Profession

すべてのソフトウェア技術者に品質技術を！

SQiP活動のご紹介

SQiP Software Quality Profession

JUSE Union of Japanese Scientists and Engineers

一般財団法人　日本科学技術連盟

SQiP Software Quality Profession

品質にしっかりと取り組めば、組織は賢く、強く、幸せになれる！

SQiPとは、

実践的で実証的なソフトウェア品質技術・施策の研究・体系化と普及推進を目的として、日本科学技術連盟の下に設置されたソフトウェア品質向上のための活動です。SQiPは、「ソフトウェア品質を良くしたい」という思いを共有する方なら、誰でも参加できるオープンな場です。

委員長のご挨拶

2012年4月より、三代目SQiP運営委員長を仰せつかっております。ソフトウェアに関わる方々が抱く「品質を良くしたい」という思いを大切にしながら、ソフトウェア品質に対する社会のニーズに応えるべくSQiPの活動を展開しています。SQiPでは、顧客満足をもたらす製品やサービスを、経済的に提供するためのソフトウェア品質技術および組織的施策について、実践的で有効な方法論を調査し、議論し、形式知化し、体系化を試みています。また、これを産業界へと普及させることで、安心・安全な社会に貢献します。

SQiPの場に参加し、学び、情報発信していく。これがご自身の成長になり、組織への貢献、さらには組織の持続的成長につながります。SQiPの活動に、多くの方に関わっていただきたいと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

SQiP委員長
野中　誠 氏
（東洋大学）

SQiP副委員長
誉田　直美 氏
（日本電気）

SQiP副委員長
西　康晴 氏
（電気通信大学）

SQiP副委員長
飯泉　紀子 氏
（日立ハイテクノロジーズ）

SQiP副委員長
鷲崎　弘宜 氏
（早稲田大学）

SQiPのミッション

- ソフトウェア技術職を自ら誇れる職業として位置づけ、
- 実践的で実証的なソフトウェア品質技術・施策を体系化し、
- これを普及させることにより、
- 日本の、ひいては世界のソフトウェア産業の健全な発展に寄与し、
- 品質の良いソフトウェアによってもたらされる安心・安全な社会の実現に貢献します。

SQiPの活動方針

- ソフトウェア品質の重要性を訴求
- 実践的で実証的なソフトウェア品質技術・施策の研究・体系化と普及推進
- 日本のソフトウェア産業の健全な発展に貢献
- グローバルな視野での活動、国際協力の推進
- 新しい課題へのチャレンジ

SQiPの歴史 ～35年以上にわたり、ソフトウェア品質向上のための取り組みを行っています～

1980年、日科技連では、日本におけるソフトウェア製品の品質向上と効果的開発の方法論の確立を目指して、「ソフトウェア生産管理研究委員会」（SPC, Software Production Control）を設置しました。以来、「TQMとソフトウェア工学の結婚」を標榜し、日本的品質管理をソフトウェア生産に適用するための調査・研究・普及を行ってまいりました。

2007年に、この活動が「ソフトウェア品質に関する活動」であると分かりやすくすることと、ソフトウェア技術職という専門的職業の矜持を大事にしたいという思いから、**SQiP（Software Quality Profession）**に改称しました。

1980年の設立当初は、メインフレーマーで培われたソフトウェア品質技術・施策を議論する場でしたが、現在はソフトウェア産業に関わるすべての方々が議論できる場になっています。その間、海外視察団を派遣して海外との交流を行うなどして、それがWCSQ（World Congress for Software Quality）の実現につながっています。また、これらの議論を通じて得られた知見をSQuBOK®として体系化し、これを基本とした資格制度の創設、セミナーの開発を行い、誰もがソフトウェア品質を学べる環境を作っています。今後は、アジア各国と手をつなぎ、日本のソフトウェア品質技術・施策の良さを世界へ発信していきたいと考えています。

SQiPの活動

ソフトウェア品質シンポジウム（SQiPシンポジウム）

ソフトウェア品質に関わる全ての方々が一堂に会し、現場で役立つ実践的な技術や経験、ノウハウ、研究成果を発表し意見交換を行う場です。

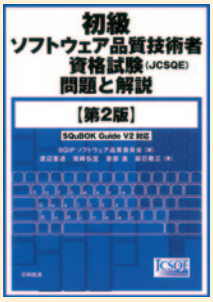
メーカーやSI企業の品質保証担当者の方だけでなく、開発者や、さらにはユーザー企業の方にも多数ご参加いただき、オープンな立場で品質向上のための議論や、相互研鑽、人的交流を行うことを目的としています。

3日間で有料参加者延べ約2,000名が来場するSQiPを代表する人気イベントです。

〔開催日程〕毎年9月中旬（予定）
〔会　　場〕東洋大学・白山キャンパス（予定）
〔内　　容〕基調 / 特別講演、発表、パネル討論、ツール展示、企画セッション、ランチセッション、SIG ほか

ソフトウェア品質技術者資格試験（JCSQE）

2008年12月に創設されたソフトウェア品質技術者資格制度（JUSE Certified Software Quality Engineer）は、「すべてのソフトウェア技術者に品質技術を!」をコンセプトに初級、中級、上級（実施予定）の3段階の資格で構成しています。初級資格試験は、今まで19回実施しており、受験者数は延べ7,600名を超え、合格者も合計2,900名を超えています。



試験対象者は、品質保証担当者はもちろん、開発者、プロジェクトリーダーやマネージャー、保守技術者、教育担当者などのすべての方々です。

ソフトウェア品質知識体系（SQuBOK®）

ソフトウェア品質の暗黙知の形式知化、最新のテーマの整理と体系化を目的として、SQiPがまとめた日本発のBOK（知識体系）です。

2007年第1版発行後、2014年11月28日に第2版が発行されました。この間のソフトウェアを取り巻く環境の変化を踏まえ、(1)開発技術の追加、(2)安全、安心への対応、(3)新たな国際規格改訂への対応について、改訂を行いました。中国版も既に出版され、英語版も出版に向けて準備中です。SQuBOK®をSQiPの実践的研究、普及事業の支柱として位置づけています。

情報発信

SQiPでは、様々な情報をポータルサイトを基点に発信しています。

- SQiPライブラリー（SQiP活動から出た成果を公開）
- SQiP研究会特別講義レポート、セミナーレポート

ソフトウェア品質セミナー（JUSE-SQiPセミナー）

ソフトウェア品質に関する多種多様なセミナーを開催しています。

［開催セミナーの例］

- ソフトウェア品質技術者初級セミナー
- 実践!ソフトウェア品質向上のための技術者セミナー
- 実践!ソフトウェア品質向上のための原因分析セミナー
- データ指向のソフトウェア品質マネジメントセミナー
- 実践!管理者のためのソフトウェア品質マネジメントセミナー

ソフトウェア品質管理研究会（SQiP研究会）

- ソフトウェア品質に関連した教育と事例研究を行うことを目的とした、1年間継続して行う研究会です。「ソフトウェア品質をもっと良くしたい」、「ソフトウェア開発の現場を活性化させたい」などの現場の課題に対して、研究員と指導講師が一緒になって解決の糸口を探り、研究成果としてまとめます。
- 研究員は「ソフトウェア品質シンポジウム」に無料で参加できます。
- 活動期間：5月～翌年2月（例会全9回）

ASQN（Asian Software Quality Network）

SQiPの国際活動の一つとして、アジア各国が連携し、ソフトウェア品質向上に努め、結束を固め、国際競争力強化するために、アジアにおけるネットワークを築くべく、ASQNを設立しました。2013年に第1回をクアラルンプール（マレーシア）で開催したのを皮切りに、これまで2014年に第2回を上海（中国）、2015年に第3回を東京（日本）、2016年に第4回を済州島（韓国）、2017年に第5回をクアラルンプール（マレーシア）で開催し、2018年の第6回は北京（中国）で開催しました。今後も毎年、アジア地域で行われるイベントにジョイントするなどし、アジアのネットワークづくりをしていきます。

コミュニティ活動

次のようなコミュニティ活動を支援しています。

- SQiPコミュニティ
- ソフトウェア品質保証部長の会
- SQiP-SIG

など

すべての情報はSQiPポータルサイトへ! ➡ **http://www.juse.or.jp/sqip/**

SQiP ポータルサイト

Software Quality Profession

ソフトウェア品質に関する最新情報満載です。

シンポジウムや資格試験などのSQiP最新情報のほか、研究会やシンポジウムなどの活動で得ることのできた論文等の成果を「SQiPライブラリ」で一般に公開しています。

今すぐアクセス!

➡ http://www.juse.or.jp/sqip/

■SQiPの位置づけ

SQiPという場は、”オープンなコミュニティ”です。SQiPとは、SQiP運営委員会だけではありません。シンポジウムや資格試験、研究会やSQuBOK策定など、SQiPの活動を支える方々に加えて、SQiPコミュニティにご参加いただいている方々も含めてSQiPのメンバーです。

SQiPのミッションの実現に向けて、「ソフトウェア品質を良くしたい」という仲間を多く増やしたいと考えています。

SQiPコミュニティ募集（会費無料）

- 会費無料です。
- ソフトウェア品質向上に関心がある方なら、どなたでもご参加いただけます。
- 「SQiPコミュニティ」のメーリングリストに参加できます。ソフトウェア品質全般について、悩みを共有したり、議論したり、情報交換したりできます。
- 「SQiPコミュニティ」による自主的な勉強会に参加したり、自分で開催することもできます。日科技連ビルを会場として利用することもできます。
- セミナーやシンポジウムなどに、ルポ執筆などの運営協力をいただくことで、無料で参加できます（人数制限があります）。
- SQiP運営委員会によるアンケートへの回答など、SQiP活動への貢献をお願いすることがあります。
- 以下の情報とともに「SQiPコミュニティ参加希望」という件名で事務局（sqip@juse.or.jp）までEメールでお申込みください。
  - 名前
  - 所属先（部署名・研究室名まで）
  - 所属住所／電話番号
  - メールアドレス

「SQiPメールニュース」好評配信中（無料）

ソフトウェア品質に関するイベント情報、最新の動向、コミュニティ情報などをメール配信しています。SQiPメンバーにはもちろん、これまでにSQiPシンポジウムやセミナーなどに参加された方に配信しています。

現在、約7,000名の方が登録されています（2018年7月現在）。

配信登録希望の方はSQiPポータルサイトから。

SQiP運営委員会

（敬称略、順不同／所属は2018年7月1日現在）

■委 員 長:	野中	誠	東洋大学
■副委員長:	誉田	直美	日本電気株式会社
	西	康晴	電気通信大学
	飯泉	紀子	株式会社日立ハイテクノロジーズ
	鷲崎	弘宜	早稲田大学
■委　　員:	小笠原	秀人	千葉工業大学
	小池	利和	ヤマハ株式会社
	孫福	和彦	株式会社日立ソリューションズ
	森崎	修司	名古屋大学

※一般財団法人日本科学技術連盟

一般財団法人日本科学技術連盟（日科技連）は、昭和21年5月1日に設立の科学技術団体であり、昭和37年（1962年）に科学技術庁（現文部科学省）所管の財団法人となり、2012年4月1日に一般財団法人として新たなスタートを切りました。

創立以来、科学技術の進歩・発展をはかるための諸活動を通じて、産業界に寄与することを基本方針として、調査・研究・開発、大会・シンポジウム、教育訓練・国際交流、QCサークル活動の全国的普及、及び広報・出版などの活動を通じて科学的な経営管理技術の普及・進歩・発展に努めております。

特に「品質」を中核とする経営管理技術に関する各種の事業は、国内はもとより世界各国から注目を集め高い評価をいただいております。

お問い合せ先

JUSE Union of Japanese Scientists and Engineers

一般財団法人 日本科学技術連盟　ソフトウェア品質（SQiP）担当

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1

TEL: 03-5378-9813　FAX: 03-5378-9842　E-mail: sqip@juse.or.jp　http://www.juse.or.jp/

（201807-2000）